

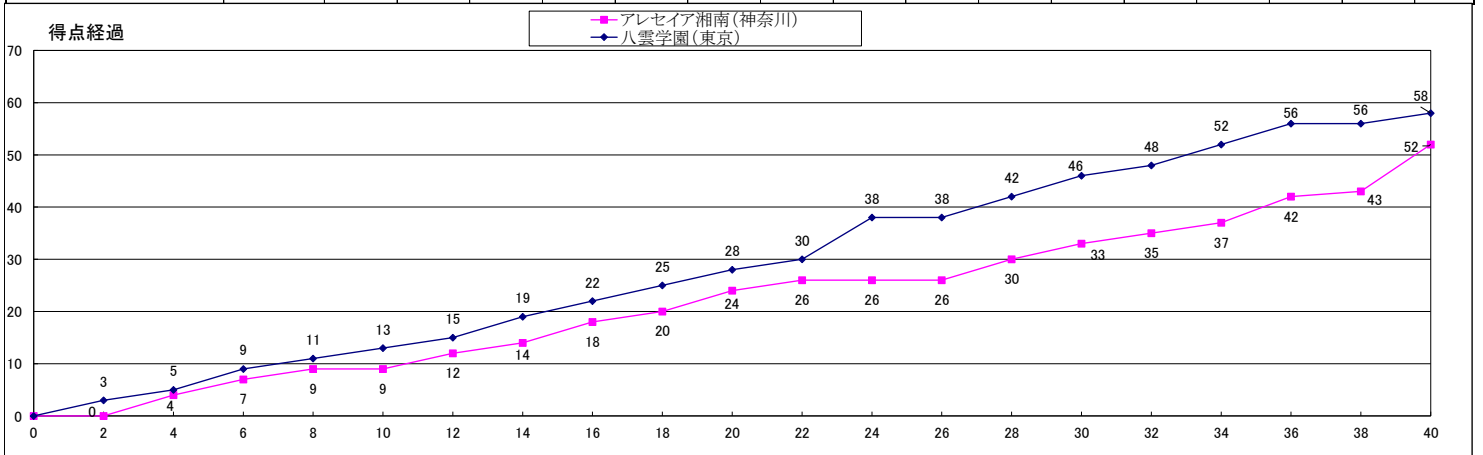
試合No.	A2	大会名	平成30年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会									
		期 日	平成30年 6月 10日(日)			会 場	カルッツかわさき					
女子準決勝		主 審	平出 剛			副 審	中嶽 希美子・久保 あしみ					
		チ-ム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
		八雲学園(東京)				13	15	18	12			58
		アレセア湘南(神奈川)				9	15	9	19			52

八雲学園(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
奥山 理々嘉(CAP)	* 4	21	0	1	0%	10	13	77%	1	1	100%	5	6	2	1	3	7	2
小村 日夏理	* 5	20	2	6	33%	7	17	41%	0	1	0%	4	2	2	0	0	2	2
栗谷 真帆	6																	
吉田 眞子	* 7	3	1	3	33%	0	3	0%	0	0		2	16	1	0	0	1	1
太田 咲里	* 8	7	0	2	0%	3	8	38%	1	1	100%	2	4	6	0	0	3	1
奥脇 彩柚子	* 9	7	1	5	20%	2	2	100%	0	0		2	2	2	1	0	7	3
奥野 聖	10																	
宮下 愛弥	11																	
吉塚 ゆい	12																	
岡田 空	13																	
池本 里夏	14																	
埴 京華	15																	
原田 響	16																	
榊原 沙織	17																	
清水 乃梨花	18																	
コーチ 高木 優子																		
合計		58	4	17	24%	22	43	51%	2	3	67%	15	30	13	2	3	20	9

アレセア湘南(神奈川)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
宮 優里奈(CAP)	* 2	12	1	3	33%	4	12	33%	1	2	50%	0	7	3	1	2	5	1
田川 玲実	3																	
山城 七海	5																	
西 実来乃	6																	
熊谷 萌那	8	0	0	2	0%	0	1	0%	0	0		0	1	0	1	0	0	0
渡辺 菜緒	* 11	12	2	12	17%	3	5	60%	0	0		2	3	1	3	0	1	2
富田 真桜	12																	
加藤 優花	14																	
古木 梨子	* 15	15	2	5	40%	4	11	36%	1	1	100%	1	4	3	1	0	2	2
寺林 陽菜	* 17	11	0	0		5	12	42%	1	2	50%	0	1	2	3	0	0	2
高杉 真央	* 25	2	0	3	0%	1	2	50%	0	0		2	1	1	1	1	0	3
植村 奈都子	22																	
コーチ 張 一																		
合計		52	5	25	20%	17	43	40%	3	5	60%	5	17	10	10	3	8	10



戦評

1P 両チーム、マンツーマンで始まる。八雲学園の#5が試合開始早々3PTSを決め、さらにゴール下からのシュートで加点する。アレセア湘南は#2を起点に反撃する。八雲学園は#4がミドルシュートやゴール下で攻守に渡り存在感を示す。アレセア湘南は24秒バイオレーションを繰り返し、攻撃のリズムに乗れない。13-9で八雲学園がリードして1P終了。

2P 開始早々、アレセア湘南の#15が3PTSを決め、点差を縮める。八雲学園は#4を中心に着実に得点を重ねていく。中盤から八雲学園が立て続けにパスミス、アレセア湘南も懸命な守りを見せる。アレセア湘南の#15が3PTSを沈めたのち、シュートファウルからのフリー・スローも決め、残り1分30秒で1点差に迫る。しかし、八雲学園の#5が3PTSで突き放し、28-24で八雲学園がリードし、前半終了。

3P 開始早々、八雲学園の#8がオフェンスリバウンドからのゴール下シュートや#7の3PTSなどで点差を広げる。アレセア湘南が残り6分40秒でタイム・アウト。タイム・アウト明け直後にも八雲学園の#9が3PTS、#4がゴール下から加点する。アレセア湘南は#2のサイドでピックを使って攻撃を組み立てようとするが終始、八雲学園のディフェンスに阻まれる。46-33で八雲学園がリードし、3P終了。

4P 開始早々、アレセア湘南の#2のハイポストを起点に#11がバックドアで入り、シュートを決める。八雲学園はコートを広く使い、ボールを散らしてアレセア湘南ディフェンスを動かし、ギャップからのシュートを着実に決めていく。アレセア湘南は中盤から終盤にかけて#11、#2の3PTSで食らいつくも、攻守で相手を上回った八雲学園が58-52で勝利した。